

令和3年度

地域課題解決人材育成プログラム



地域課題解決人材育成プログラムは、「ワイン科学特別コース」および「食のブランド化と美しい里づくり人材育成コース」で構成され、地域志向型の教育カリキュラムを展開し、地域の課題を解決できる実践的人材の育成を行います。本プログラムは所属する学部での学修と並行して、学生であれば誰でも履修できます。

右図にある修了要件の7科目を修得していれば、プログラム修了者と認定され、「修了証書」を取得することができます。

また、地域課題解決科目の単位認定の見込みがあり、6科目を修得していれば、「修了見込証明書」を取得することができます。

修了証書・修了見込証明書の発行は、いずれも申請が必要となります。

申請書および成績証明書を**地域人材養成センター地域未来創造室**（B1号館3階315室）に提出してください。

修了証書は、山梨大学での活動（教育、社会貢献）の証明として、地域に役立つ人材であることの証となります。

就職活動等の際に、本学での実践的な取り組みをアピールするものとして活用できます。

■カリキュラムマップ



修了証書申請書および修了見込証明書申請書は、
未来計画研究社ホームページからダウンロードできます。

<https://miraiken.yamanashi.jp/news/3551/>



令和3年度地域課題解決人材育成プログラム 開講科目一覧

山梨大学 電子シラバス・授業の目的欄等に「地域課題・共通科目」もしくは「地域課題・専門科目」との記載があります。

区分	大学における科目	科目一覧		
①地域志向型共通教育科目【4科目】	地域志向導入科目	全学共通教養教育科目 山梨大学から見る大学の歴史と現在／近代美術とコレクション／日本事情Ⅰ／日本事情Ⅱ／サッカー文化学／ボランティアとサービスマーケティング／富士山学／医療の最先端／観光地形成論		
	地域初年次教育科目	学部共通基礎科目 大学基礎ゼミ（各学部の学部入門ゼミ又は学部(学科)基礎ゼミ）		
	地域社会人基礎力養成科目	全学共通人間形成科目 キャリア形成のための作文演習／大学生のための言語表現／キャリアデザインⅠ／キャリアデザインⅡ／キャリアデザインⅢ		
	地域志向発展科目	全学共通教養教育科目 日本古代の政治と文化／考古学について／子ども文化／経済学の目で見ると／住まいの地方性／資本市場の役割と証券投資／発達と障害／現代教育政策論／フューチャーサーチ／自然に対する子どもの眼差し／現代日本の法と政治／保育と社会／ワインと宝石／これからの機械技術／クリスタルサイエンス／ワイン製造及び体験実習／水圏植物の生物学／自然災害と都市防災／食から見える世界いろいろ／都市計画／環境生態学／電力伝送工学／加工学Ⅰ／社会における看護と介護／社会の中の医療・医学／食物科学入門		
②地域課題実践型（コース専門）科目【2科目】	ワイン科学特別コース	生命環境学部地域食物科学科専門科目 ワイン微生物学／ワイン品質評価学／ワイン製造科学実習／ワイン科学／ワイン醸造学／ワイン分析学／ブドウ栽培学実習／インターンシップⅠ／インターンシップⅡ／卒業論文研究		
	食のブランド化と美しい里づくり人材育成コース	学部専門科目	教育系	生涯学習論／教育の現在／学校制度・経営論／地誌学／臨地研究Ⅰ／臨地研究Ⅱ／卒業論文研究／社会参加実習Ⅰ／社会参加実習Ⅱ／社会参加実習Ⅲ／社会参加実習Ⅳ
			医学系	社会環境医学／地域医療学／地域看護学概論／地域看護活動論Ⅱ／卒業論文研究
			工学系	分析化学／結晶科学／防災工学Ⅰ／廃棄物管理工学／ソフトウェア開発プロジェクト実習Ⅱ／電気エネルギー変換工学／材料力学Ⅰ／加工学Ⅱ／機械加工学／実践ものづくり実習／PBLものづくり実践ゼミ／ベンチャービジネス論／キャリア形成実習Ⅰ／キャリア形成実習Ⅱ／キャリア形成実習Ⅲ／キャリア形成実習Ⅳ／インターンシップ／卒業論文研究
生命系	環境解析実習／食品製造学／社会科学入門／生物資源論／マーケティングと消費者行動／観光政策科学入門／観光政策論／観光地域計画論／地域共生デザイン／観光資源保全・活用論			
③地域課題解決科目【1科目】	全学共通自発的教養(地域課題実践活動)科目	まちづくりの実践（ツーリズムによる産業活性化・地域活性化）／ワインツーリズムの実践／フェーズフリーの具現化の実践／森林の継承と環境保全計画立案／山梨の農業とその発展／農山村資源を活かした観光地域づくりの実践（アグリツーリズムの実践）／エリア放送を活用したコンテンツ作成の実践		

※ 【 】は修了要件の科目数です。

授業紹介

▶ 地域志向型共通教育科目

例えば以下のような授業があります。

ワイン製造及び体験実習

山梨県の主要な産業の一つであるワイン製造について、原料となるブドウ栽培の現状を把握するとともに、実際にワインの製造体験学習を通して、「ものづくり」の経験と知識を習得します。ワイン科学研究センターの醸造設備を用いて製造体験学習を行うためワインに興味をもつ学生教育に効果があります。

※地域志向型共通教育科目および地域課題実践型（コース専門）科目は、履修申告期間中にシステムから履修申告を行ってください。



▶ 地域課題解決科目

※学内説明会を開催予定（日程はCNSでお知らせします）

地域の課題をアクティブラーニングの手法を取り入れ、学生自らが主体的に学修し、地域の課題を発見し、解決する能力を身につけます。

令和3年度は以下の活動を予定しています。各活動の詳細は、山梨大学電子シラバスの「自発的教養科目の説明」をご覧ください。

- ① まちづくりの実践 担当教員：大山 勲（生命環境学部）
- ② ワインツーリズムの実践 担当教員：大山 勲（生命環境学部）
- ③ フェーズフリーの具現化の実践 担当教員：秦 康範（生命環境学部）
- ④ 森林の継承と環境保全計画立案 担当教員：馬籠 純（生命環境学部）
- ⑤ 山梨の農業とその発展 担当教員：村松 昇（生命環境学部）
- ⑥ 農山村資源を活かした観光地域づくりの実践 担当教員：菊地 淑人（生命環境学部）
- ⑦ エリア放送を活用したコンテンツ作成の実践 担当教員：郷 健太郎（工学部）



※地域課題解決科目とは、シラバスの「自発的教養（地域課題実践活動）科目」のことです。平成30年度以前は「自発的教養（地域課題実習）科目」のことです。

※履修登録及び単位申請の方法は4ページを参照してください。

地域課題解決科目の履修登録および単位申請について

➤ 履修登録方法

興味を持った活動があったら、担当教員へ連絡を取り、履修申込書を提出してください。活動への参加が承認されたら、教員の指示に従い活動してください。

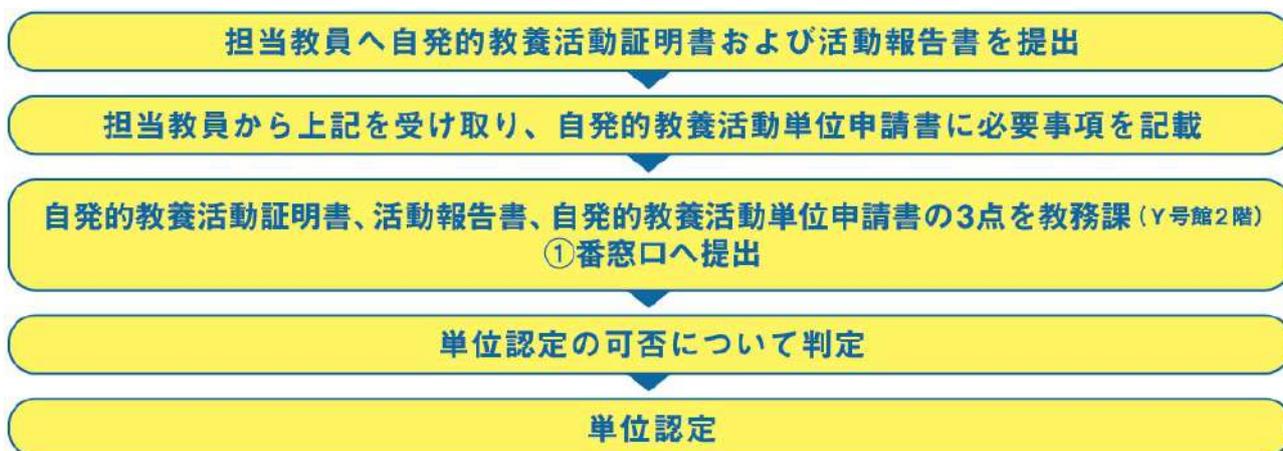
履修申込書は、未来計画研究社ホームページからダウンロードできます。

<https://miraiken.yamanashi.jp/news/3551/>



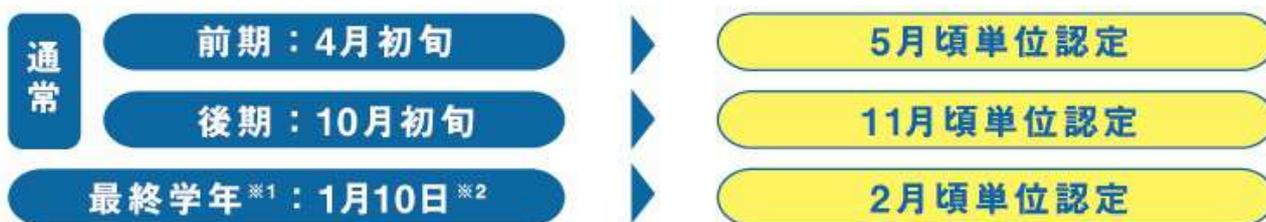
➤ 単位申請方法

地域課題解決科目については、活動の終了後に「自発的教養（地域課題実践活動）科目」として単位申請します。単位申請の手順は下記のとおりです。



➤ 単位申請書提出期限および認定時期

提出期限等の詳細はC N Sにてお知らせします。



※1：最終学年の履修生が卒業判定前に単位認定を行う必要がある場合に限りです。

※2：土日祝日にあたる場合は、その直前の平日が提出期限となります。

お問い合わせ

地域人材養成センター地域未来創造室

△ 甲府キャンパスB 1号館3階315室

☎ 055-220-8130

ホームページ：<http://www.fucom.yamanashi.ac.jp/>

